

# 小須戸公民館報

町館 須戸公民館  
発行所 小須戸公民館  
須戸公民館  
中央公民館  
須戸公民館  
発行人 成田常信  
発行日 毎月15日

## 小須戸町は町制100周年を迎えました



喧嘩太鼓 町の有志によって勇壮な響きを聞かせてくれる。結構疲れるらしく、みなさん汗いっぱい頑張ってました。

水駅として栄えた小須戸町

小須戸町は、江戸時代、信濃川沿岸の重要な水駅で、新潟と長岡の間に位置した物資集積所として宿場的繁栄を遂げました。そして明治二十二年に町制を施行し、明治三十四年には横水、矢代田、新保の各村と合併して現在の小須戸町となりました。

小須戸町は古くから花木栽培や織物の産地として知られており、特に花木は現在関東、東北などの広い地域にも「花木の小須戸」として知られるようになってきました。

そして、明治、大正、昭和、平成に亘って町並みも変貌し、昔の面影は薄れて近代的な建物が目立つようになりました。木造の施設や工場も鉄筋コンクリートの建物に変わり、喧嘩祭に投下されたという屋根石のある建物は一軒も見当たらずなくなりました。



今昔写真展の作業も進んでいる。

### 町制百周年にあたり

時代の流れと共に変わりゆく社会の中で私達は生活していき、私達は変わらぬ歴史文化を振り返る事で、今後の町づくり、人づくりを考える上で、町制百周年の意義は来たるべき二十一世紀に向けて、今日までの歩みを今後どう町づくりに生かして行くかにあるのです。

### 町制百周年の取り組み

そのために行政は、「地方自治は民主政治の基礎をなすもの」の基本理念のとおり、地域住民との意見交換を積極的に行い、住民からの意見を十分考慮していかねばなりません。そして明るく住みよい町を築いていく上で、町制百周年を契機として、「小須戸としての町づくり」を明確に打ち出していく必要があります。

### 百周年記念事業の取り組み

小須戸町は町制百周年記念事業の計画準備について、準備委員会を設置して検討を行って来ました。その結果、記念式典や催し物等で約一千万円の子算を計上して取り組んでいく事になりました。

### ちよこつと一言 (29)

私達夫婦は近所のもう一組の御夫婦と一緒に毎朝六時から散歩に出かけます。ストレッチ体操をしてから金津まで行き、高蔵寺のお地蔵様に草花を供え、今日一日の祈願をして一時間ぐらい歩きます。朝の空気はおいしくて、気分は最高です。歩いていると車では見えない



季節の移り変わりが木の芽や草花から感じられ、自然の素晴らしさがよくわかります。顔見知りも出来ます。時々会う小向の方、おしいしトマト御馳走さまで。単身赴任の多かつた主人の定年退職を機会に去年から始めましたが身体の調子は良いようです。雨の日もやっています。これからも続けます。

### 一、町制百周年記念式典

十月二十五日(木)小須戸小学校に於いて行います。さらに当日は、産業、文化、自治の各功労者の表彰を行います。功労者の選定は記念式典実行委員会が審査し、決定します。

### 二、創作太鼓の設置

太鼓の響きは人々の心をゆさぶり、遠い郷愁を呼び起こさせるものがあります。祭りの燈籠押しにも勇壮な太鼓が鳴り響いています。その勇壮さを町の活性化へとつなげて欲しい、「喧嘩太鼓」と命名し設置する事にしました。今は、太鼓の保存会を結成し、百周年の記念式典に披露する予定です。今後は喧嘩太鼓の創作リズムを完成し、後世に伝承して行く計画です。

### 三、花火大会

商工会との共催で、又、町民のみならずの二支援を頂き八月十五日、信濃川雁巻堤外地に於て花火大会を行います。

### 四、小須戸町今昔写真展

十一月二日から四日の文化祭で、文化協会と中央公民館主催で行います。小須戸町の昔と今を写真で対比させ、変わる町、発展する我が郷土を見直して行きます。

### 五、小須戸町文芸百人展

右記に同じく文化祭の期日に主催も同じで行います。小須戸町は古くから文芸の盛んな町でした。活躍した故人や現在活躍している人達を川柳、短歌、俳句などを通して紹介します。

### あなたの地区、PTA、団体で16ミリ映画を利用しませんか。

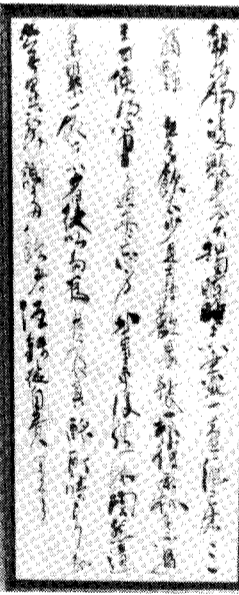
中央公民館では、視聴覚教育の一環として、16ミリ映写機、16ミリ映画(アニメ、社会テーマ、家庭教育、体育、健康、他)スクリーンなどを無料でお貸ししています。あなたの地区、PTAや団体で、集会や行事にぜひ利用して下さい。

### 親子でチャレンジ

毎月一回、親子揃って色々な事にチャレンジする「親子チャレンジ教室」。七月は押し花にチャレンジでした。元小須戸中の長谷川先生を講師に、信濃川河川敷を約一時間散策。途中、道端の花や草を観察。その後、公民館の三階で採ってきた卓花で押し花にチャレンジ。「この花、何んでゆん」「お母さんに聞いてもわかる訳ないでしょ。本で調べなさい。」なんて声も聞こえてきたりして、ワイワイ楽しく押し花にチャレンジしました。

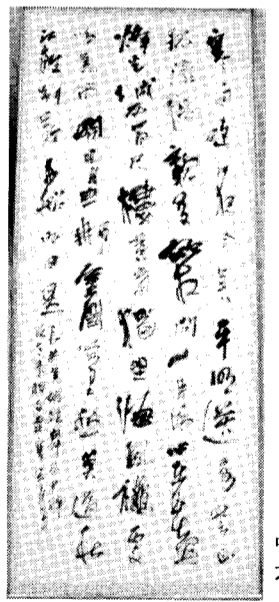
## 第45回 県展入選作品 (3)

「唐詩」  
新町4 菊地伸一さん  
統一と字々の存在感を求めました。▼が固さが残ったようです。



「白居易詩」  
躍動する若々しい作品が、出た間、作品のギャップに、し。

中央町5 木伏博文さん



- 一位 田上中
- 二位 小須戸中A
- 三位 新津南高校A・白根高校
- 〈女子Bクラス〉
- 一位 新津五中A
- 二位 新津一中A
- 三位 田上中A・五泉北中

- 一位 見附中
- 二位 小須戸中A
- 三位 五泉北中A・新津一中
- 〈女子Aクラス〉
- 一位 田上中
- 二位 小須戸中A
- 三位 新津南高校A・白根高校
- 〈女子Bクラス〉
- 一位 新津五中A
- 二位 新津一中A
- 三位 田上中A・五泉北中

町は百才の誕生日を迎えました。私達が生まれ、育った土地はこれからも発展し続けていく事でしょう。百周年を機会に町の歴史を振り返り、これからの町づくりを考えるに当たっての契機として行かねばなりません。小須戸町百才、おめでとう。

町は百才の誕生日を迎えました。私達が生まれ、育った土地はこれからも発展し続けていく事でしょう。百周年を機会に町の歴史を振り返り、これからの町づくりを考えるに当たっての契機として行かねばなりません。小須戸町百才、おめでとう。



七月二十九日、夏のまつ盛り、気持ちいいくらい青空の下、第二十八回近郷球大会がスポーツ公園テニスコートで行なわれました。参加したのは新郷、新津、小須戸など七市町村、四十三チーム、二百六十人でした。尚、結果は次のとおりです。

近郷球大会  
二百六十人参加

第二十八回小須戸町近郷球大会  
二百六十人参加

### あいさつ標語入選作品

あいさつは家庭のしつけの第一歩

新町一 鈴木美津男さん

### 四分館の先頭きって横水分館

## 夏まつ盛りの運動会

横水分館運動会は毎年、夏まつ盛りの七月に行われている。今年も七月二十二日、四分館の先頭をきって開催された。

夏休み直前の日曜だけど、文京町、横川、小向、水田の各地区から三百人以上が参加。夏の暑さをふっ飛ばす位の元気なよさで一日中盛り上がり続けた。

種目のメインは「駅伝」。他分館にはないこの種目はものすごく盛り上がる。一チーム四人(女一、男三)で横水地区約二・五kmを走る。今年は横川が一位。二位水田だった。

総合は一位横川、二位水田、三位小向、四位文京町で、水田



おお〜つと、お母さん大奮闘

### 子どもたち本をたくさん読もう

〈新刊案内・児童本〉

恵がきと宇宙人 木村幸子  
かあさんの山 井川沙代  
がんばれゴロウ! 福田岩緒  
名コックだよおとうさん 国松俊英

3年1組けんきクラス赤木由子  
アンパンマンシリーズ 25巻  
1年1組シリーズ 10巻  
日本の怪奇ばなし 8巻  
わかつたさんシリーズ 6巻  
3年生16年生の自由研究

〈寄贈御礼〉

次の方々が図書室に図書を寄贈下さいました。ありがとうございます。

渡辺弘子さん(新町二) 加藤国一郎さん(新潟市) 長谷川国一さん(鹿瀬町) 坂井輝明さん(蔵町三) 土田達輝さん(本町三)

### 新保分館講演会に参加して

新保 石田 マサ子



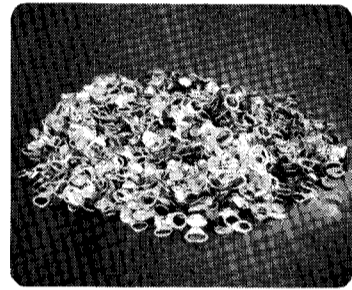
花積正夫先生の「明るい家庭づくり」の講演会に初めて参加させて頂きました。暑い日でしたが、新保研修センターは風通しもよく涼しくて助かりました。

会場は約六・七十名の方で、ご夫婦でいらした方、お年寄、それに若いお母さん方が大勢いらしてなごやかな集まりでした。

花積先生は演壇に立たれると「ばあちゃん足だしなせや、えんりよしねで足だしなせや」とおっしゃって会場に笑いをおこしました。

子供に過大な要求をするな、反抗期と思わず自立の時だと考えた方がよい。など最初から最後まで笑いの中でいろいろなお話をしてくださいました。

先生は福島県喜多方のご出身で、農家の五男として生まれ



小さい頃より、先生になりたくてなりたくて苦学をされ初心を成しとげられた。というお話の時だけはシュンと静かでした。が一時半の講演は笑いの連続でした。

この講演会に参加させていただいて新保地区の活気を感じました。

先月の公民館報でリングブルで車イス購入資金の一部と呼びかけたところ、二週間で八百円も集まりました。(七月三十一日現在) 町民のみならずから励ましや協力の電話を頂き、職員一同喜んでおります。本当にありがとうございます。小さな善意を大きな力に、これからも頑張りますのでよろしくご協力お願いします。

### リングブル800g

集まりました。

### 防火管理者資格付与講習会

新たに防火管理者の選任が必要となった事業所等についてはこの機会にお願いします。

期日 9月13日(木)と14日(金)の2日間。  
共に午前9時から午後4時まで。  
会場 白根市青年教育センター  
申込み 8月末日までに小須戸消防署におたずね下さい。  
受講料 テキスト代 2,500円

### 催し物ご案内

#### 夏休み子ども映画会

期日 八月二十二日、二十九日  
(共に水曜日) 午後一時三十分  
会場 中央公民館二階視聴覚室  
上映映画 西遊記、三年ねたろう、花いっぱいになれ

#### 乳幼児学級つくしんぼ

「こぼでのコミュニケーション」  
期日 八月二十八日(火)  
午前十時から十一時  
会場 中央公民館二階会議室  
お話し 小林正子さん(元沼垂幼稚園長) 1・2の3ちゃん

#### 親子釣り大会

期日 九月九日(日)  
午前九時開会  
会場 スポーツ公園テニスコート  
種目 男子、女子共にシングル  
参加料 シングル一人五百円  
ダブルス一組千円

## ふるさと散歩(40)

### 横川の大蛇と龍王堂

横川の田んぼのまん中に龍王堂という仏堂が建っている。地元では「弁天様」とも呼ばれている。回りは田んぼと畑だけ、なんてこんな所に仏堂があるの不思議に思う。聞くところによればこの龍王堂には伝説が残っている。

今から約三百年前、今の龍王堂の附近がまだ沼地で「鳴」と呼ばれていた頃のこと。新発田藩主溝口宣勝から開拓の命を受けた横川長沢家の先祖宗右衛門は困ってしまった。というのもこの「鳴」には恐ろしい大蛇が住んでいたのである。村人と開発の協議をしてもみんなしりこみをしてなかなか賛成してくれない。ようやく説得して鳴を開拓する事に決定した。そして大勢の人足で鳴に入ると大蛇が現われた。宗右衛門は人足の先頭に立って大声で叫んだ。

「大蛇に申入れる。君命によりこの地を開拓す。汝早々に身を隠し、妨をなすべからず。無事開発したなら汝を祭ると。その後、不思議な事に大蛇は一度も姿を現さなくなったという。



### ビデオ視聴室

「狙われる尾瀬の水」  
期日 八月三十一日(金)  
午後七時三十分から九時  
会場 中央公民館二階視聴覚室  
お話し 丸山耕平さん(新米町四)

### ライオンズ旗争奪少年野球大会

期日 八月二十六日(日)  
午前九時より開会  
会場 スポーツ公園野球場、小須戸小学校グラウンド  
主催 小須戸町教育委員会、野球連盟、ライオンズクラブ

### 少年サッカー大会

期日 九月二日(日) 午前九時  
会場 河川敷サッカー場  
主催 小須戸町教育委員会、小須戸サッカースポーツ少年団

### 親子釣り大会

期日 九月九日(日)  
午前五時三十分公民館前集合  
大会地 三島郡野板町  
参加費 親子一組五百円  
入賞 大魚賞、大漁賞、外申込み 中央公民館381-2324

### 横水分館

期日 八月十九日(日)  
午前八時集合  
会場 スポーツ公園野球場

### 分館催し物ご案内

「豊かで幸せになるために」  
期日 九月十四日(金)  
午後七時三十分より九時まで  
会場 中央公民館二階会議室  
お話し 丸山耕平さん(新米町四)

### 親子映画会

期日 八月十八日(土)  
午後七時三十分から九時  
会場 中央公民館三階ホール  
映画 力たろう、赤ずきん、他

### 親子釣り大会

期日 九月九日(日)  
午前五時三十分公民館前集合  
大会地 三島郡野板町  
参加費 親子一組五百円  
入賞 大魚賞、大漁賞、外申込み 中央公民館381-2324

### 横水分館

期日 八月十九日(日)  
午前八時集合  
会場 スポーツ公園野球場

### 小須戸川柳会

題「夏」

夏山が招く記事見て野良に出る 加藤米二  
夏の夜のいななおうずく古い傷 栗原ひさし  
雷溪を求め名残りの夏スキー 高橋ただし  
浜茶屋の目のやりばない海水着 長井武雄  
しばらくは球児にゆずる地方版 我妻清作  
暑さ増し暖房器具の置きどころ 岡田良平  
甚平に肩の荷下す晩の著 松沢キヨ  
夏バテを忘れる母の泥鰌なべ 藤井春江  
夏痩せの飽かず見つめる体重計 小見ケン  
三十五度焼酎並の昼さがり 玉村タネ  
サーフィンのように世の波のり切れず 安達キヨノ  
踊る輪の足がもつれる祭り酒 駒村幸世  
まだあった終着の駅蜜見え 保科志枝  
おふくろの茄子漬が待つ切符買う 渡辺信子  
かぶと虫受難の続く夏休み 吉田みな

### 短歌クラブ作品

みどり児は遠きたるよだれ垂らしつつ転がる 鈴木ハナ  
まを目で追ひ求む 長井武雄  
郭公の声も次第に遠き朝の畑の露晴れに 長井武雄  
群鳥の幾十の姿病室の窓にひるがる蒼空よき 村山浩子  
若柿の風吹かねどもあまた落つ己がほどをば 長井利恵子  
知りたるがごと

### 七月例会作品

小須戸町俳句同好会

若竹となるいろいろと手をひろげ 吉田素糸  
十葉を積みみて婆押す乳母車 大野露春  
青葉して一句も見えぬ献句かな 五十嵐香月  
金封の墨の滲みや戻り梅雨 佐久間久子  
風鈴の音もギヤマン赤と青 斎藤可津朋  
切株の年輪乾く早梅雨 小林富沙子  
草笛を吹き少年の風に逢ふ 間島秀穂  
木下開ただの石ともほとけとも 名古屋蒼穹  
山蟻を踏まず踏まずに石の階 田中美根子  
近づけば声の離れる行々子 吉田ミナ  
郭公が啼き鳩がなき水子仏 間野良遊  
理髪師の缺てきばき熱帯魚 内山越楼  
おはようと紫陽花山を降りて来る 中野木浪  
麦刈りし田に来て青き風消ゆる 丸山虚秋

### 俳句教室

梅雨晴れやかりこみの音あちこちに 中野敏子  
夜濯ぎに煮メととの元主婦の旅 牧野信雄  
軽装の人が出てくる水芭蕉(尾瀬にて) 松沢キヨ  
梅雨深く出るあてなしに髪染むる 山崎しず枝  
梅雨晴間窓開け放ち深呼吸 吉田美樹子  
梅雨晴間窓の庭に石伝ふ 荒木愛子